

阿部泰隆 著 (弁護士)

# 司法改革の挫折

A5判・上製・496頁 定価：本体8,000円(税別) ISBN978-4-7972-3675-0 C3332

## 裁判所・弁護士法制・法科大学院改革への処方箋

司法改革は、裁判所が良質で迅速な法的サービスを提供して、国民生活を豊かにすることを目的とすべきであったが、改革されるべき裁判所が主導権をとったため、的外れの裁判員裁判に主力が注がれた。増員された弁護士の窮乏、法科大学院の破綻、法学部の沈下など、法治国家と法曹の自殺行為を招くことになった。本書は、まさにこの『死法』からの脱却を目指す処方箋を提示する。

### 【目次】

序章 本書の問題意識

第1章 司法改革の課題

コラム：司法改革は裁判所改革が要(1999年)

第1節 司法改革への提言(1999年)

第2節 司法改革の論点—キーワードは『評価』だ(2000年)

第3節 司法改革の本当の課題(2010年)

第2章 裁判所の改革

第1節 憲法問題に学識をもち、かつ通常事件に見識のある最高裁判事選出の方策と裁判官補佐体制(調査官)のあり方(2013年)

第2節 行政えん罪：行政・司法の腐敗と再生策—放置国家を克服する司法改革を(2017年)

第3節 評価視点の多様化—裁判官人事(1991年)

第3章 弁護士法制の諸問題

第1節 弁護士法制の改革(2000年)

第2節 自治体における弁護士職員採用の諸問題—明石市の例を中心に(2012年)

第3節 弁護士の懲戒処分に対する救済制度の違憲・違法性と是正策の提案(2020年)

第4節 ベリーベスト事件阿部意見

第4章 法科大学院と司法試験の設計ミス

第1節 ロースクール設置にこれだけの問題点—改革理念にほど遠い法曹養成(2004年)

第2節 司法試験改革への私見—受験回数制限案を受けた(1988年)

第3節 成績・試験と学校秀才(1992年)

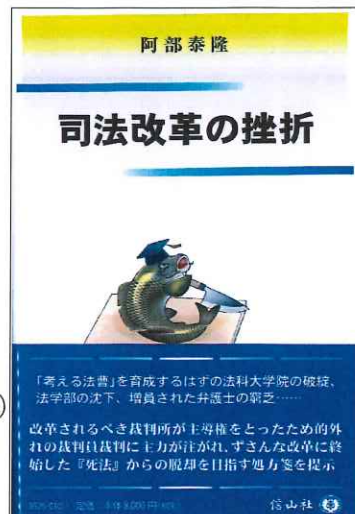
第4節 多面的評価—大学の先生(1992年)

第5章 検察審査会の強制起訴議決制度のありかた

第6章 上訴棄却の場合の未決勾留期間の不算入の違憲など

第7章 日弁連民事司法改革へのコメント

第8章 第2次司法改革のありかた—「死法」から輝ける司法への変身を期待して



本チラシ申込み  
\*送料無料

定価 8800円

特価  
7000円

(税込み)

下記にご記入の上、FAXまたはメールにてお申し込みください!!

阿部泰隆 著

司法改革の挫折

冊

お名前:

ご所属:

〒

お届け先:

お電話番号:

e-mail:

〒113-0033 東京都文京区本郷6-2-9-102 東大正門前  
TEL:03(3818)1019 FAX:03(3811)3580 E-mail:order@shinzansha.co.jp



信山社

http://www.shinzansha.co.jp